

共同コミュニケ（仮訳）

2015年12月8日

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の新たな役割に関する共同声明

我々、FNCA 参加国であるオーストラリア連邦、バングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、大韓民国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することが FNCA の目的であることを想起し、

「第 15 回 FNCA 大臣級会合」において、FNCA は、各国大臣のリーダーシップ及びコーディネーターの積極的参画により、FNCA 創設以降 15 年間の活動成果をさらに進展させる旨決議したことを想起し、

「第 16 回 FNCA コーディネーター会合」において、FNCA が新たな活動について討議を開始する時期が来たとの認識を共有したことを想起し、

原子力発電の利用が世界的に拡大し続けると見込まれ、とりわけアジアにおいては急速な経済成長や気候変動に対する関心の増加により、今後、数十年に亘り続くという事実に注目し、

原子力科学技術は医療、食糧、農業、水管理などの広範な社会経済開発分野で貢献している事実を認識し、

IAEA/原子力科学技術に関する研究、開発及び訓練のための地域協力協定(RCA)は地域の経験と専門性、資源の活用を通じ国家課題に応えうる研究開発活動の促進と調整の有力なツールであることを歓迎し、

OECD/NEA 事務局長がアジア各国と OECD/NEA の関係強化を目指し、本大臣級会合においてFNCAと OECD/NEA 間の新たに可能な協力を呼びかけたことを歓迎し、

以下のとおり活動することを決定した。

1. 行動項目1. 促進すべきテーマと活動

- ・2017 年に原子力科学と技術を活用した新たな気候変動プロジェクトを開始する。
- ・気候変動の緩和における原子力の役割に鑑み、人材開発及び原子力安全に関連したFNCAの原子力基盤プロジェクト/テーマを一層推進する。
- ・持続可能な開発のため、FNCA原子力適応プロジェクト、例えば、気候変動適応策として貢献可能な放射線育種プロジェクトを一層推進する。
- ・アジア地域に共通に裨益する放射線治療プロジェクトを一層推進する。
- ・利害関係者の関与や一般社会とのコミュニケーション促進を通じた、原子力技術に対する信頼構築に向けた関連活動及び国際規約準拠を考慮に入れた原子力損害賠償補償のための国内枠組を強化する。

2. 行動項目2. FNCA の主要な役割の強化や協力を通じた互恵のため、IAEA や OECD/NEA のような国際機関との連携を促進する。

3. 行動項目3. FNCA が参加国のニーズに速やかに応えていくために、FNCA の業務の効率・効果向上の必要性から FNCA活動の運営を改善する。

4. 行動項目4.

(活動)原資の多様化とプロジェクト/テーマの成果の一層の活用を促す。